

## HTLV-1感染症について

資料12

○感染者数は、約108万人と推定。ほとんどは無症候性キャリア。西日本に多いが、最近の調査で地域の拡散があること、減少が緩慢であることがわかっている。  
○感染経路は、母子感染が約6割以上を占めるほか、2割程度が性感染症によるとの報告がある。

①母子感染(キャリアの母親から子どもへの感染率:長期母乳(6か月以上)で約20%、断乳(人工乳)した場合、約3~6%に低下)

②性感染(主にキャリア男性から女性に、結婚後2年で20%程度の確率で感染するとされる)

③血液感染(1986年から献血時の抗体検査導入、現在は無い) 厚生労働省資料より

|                                | 出生数   | 陽性(キャリア)率       | 母子感染率             | ATL発症<br>(ATL (Adult T cell Leukemia); 成人T細胞白血病) |
|--------------------------------|-------|-----------------|-------------------|--|
| (2010年)全国<br>研修会講義(11/4<br>より) | 107万人 | 2140人<br>(0.2%) | 64人<br>(キャリアの3%)  | 3.2人<br>(母子感染者の5%)                               |
| 奈良県におき<br>かえると...              | 1万人   | 20人<br>(0.2%)   | 0.6人<br>(キャリアの3%) | 0.03人<br>(母子感染者の5%)                              |

# HTLV-1感染予防対策協議会で行うこと (富山県の場合)

- キャリアの方の相談窓口の設定
- 陽性者のカウンセリングを実施する医療機関への紹介システムを整備する
- キャリア(PCR陽性)の方の相談窓口として地域で血液内科医、神経内科医を指定して、ATL(成人T細胞白血病)、HAM(HTLV-1関連脊髄症)への相談対応を行う
- キャリアの母親から産まれた児のフォロ体制、フォローアップする医療機関の指定
- 従事者の研修等
- 協議会のメンバーとしては、産科、小児科、血液内科、神経内科等医師

# HTLV-1対策事業

H24年度

厚生労働省

関係学会・団体

奈良県HTLV-1対策協議会(母子保健運営協議会)  
(保健予防課)

1. 抗体検査体制、保健指導・カウンセリング体制の検討
2. 検査の実施状況の把握
3. 小児科との連携体制
4. 市町村が行うカウンセリングの支援
5. 市町村への研修機能

保健所

キャリアに対する、日常生活指導・助言、不安や悩みのカウンセリング等

市町村(保健センター)

妊婦・産婦に対する、授乳に関する指導・助言、不安や悩みのカウンセリング等

がん拠点病院

ALTに関する治療、情報提供、不安や悩みのカウンセリング等

難病相談支援センター

HAMIに関する情報提供、不安や悩みのカウンセリング等

産婦人科

- ・妊婦健診でHTLV-1抗体スクリーニング検査実施、結果説明
- ・妊産婦の健康管理
- ・確定検査実施、結果説明
- ・授乳に関する指導・助言
- ・不安や悩みのカウンセリング等

小児科

- ・児の検査・フォロー
- ・児の健康管理
- ・授乳に関する指導・助言
- ・不安や悩みのカウンセリング等